## 血液内科に入院される患者さまへ

大阪市立大学医学部附属病院 栄養部

## 

入院中は、バランスを考慮したお食事の提供を心がけておりますが、入院前からできる限り栄養状態を整え、治療に対応できる体を作っておくことも大切です。

① 主食、主菜、副菜をそろえ、バランス良く、かたよりのない食事 をしましょう

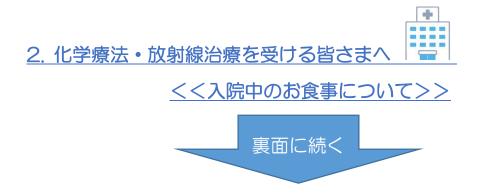
(栄養素の不足や摂取過多などは、体調不 良の原因となります)



② よく噛んで食べましょう

(消化酵素を出すことで、胃腸の働きを助けます)

③ ヨーグルトや乳酸菌飲料など発酵食品を積極的に摂りましょう (腸内環境を整えます)



治療によって、体が必要とする栄養量が増えます。栄養不足になる

と、副作用が出やすくなったり、治療を続けることができなくなったりすることがあります。



## 予測される副作用:

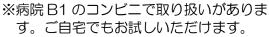
吐き気、食欲不振、味覚・においの異常、口内炎、下痢など

- ① 食べられる時は、病院の食事をしっかり食べましょう(体に栄養を蓄えておきましょう)
- ② 食事の量が減ったときは、補助食品を試してみましょう \*1) (食事の代わりになります)
- ③ **副作用があるときは、不足しがちな栄養素を補いましょう** \*2<sup>)</sup> (副作用の予防・緩和のため)
- \*<sup>1)</sup> お食事の代わりになる飲み物です (食事に 1 本追加を目安に)

\*2) 1 本/日で、治療のために失われる ビタミンやミネラルを補うことができます



※入院中は給食に追加することもできます。 病棟担当者へご相談ください。





<u>ブイ・クレス</u> (CP10・Bio)

メイバランス



入院中、お食事に関するご質問などありましたら、栄養士への相談も可能です。 病棟担当者へお問い合わせください。

2019/10 改訂